

会議名	第3回厚木市観光振興推進委員会
日時	令和8年2月13日（金）10時～11時
場所	アミューあつぎ6階 ルーム602
出席者	出席者 11人 厚木市観光振興推進委員会委員5人 オブザーバー1人（一般社団法人厚木市観光協会専務理事兼事務局長） 事務局5人（産業文化スポーツ部長、産業文化スポーツ次長、商業観光課長、商業観光課主査、商業観光課主任）

会議の経過は次のとおり。

1 開会

商業観光課長

2 案 件

(1) 令和7年度事業の実施状況について

資料1に基づき説明。

【意見等】

特になし。

(2) 令和8年度事業について

資料2に基づき説明。

【意見等】

委員：観光イベント誘致推進事業補助金について、なぜ予算措置されなかったのか。

事務局：様々な視点から既存の施策を整理し、検討したが今回は実現されなかった。本市としても市の事業はもちろん今後も民間を活用したイベントを積極的に取り入れていきたいと思っている。

委員長：9温泉施設整備事業補助金について、日帰り入浴が法令対応に伴う改修工事が必要になり、現在は七沢荘だけ実施していると聞いている。

玉川館が日帰り入浴の営業再開に向けた、クラウドファンディングを実施した。宿泊だと遠方からの来客が多いが、地元の方々に還元するという意味では日帰り入浴は重要な役割を果たしていると思うので、そのような内容にも活用できるといいと思う。

11観光施設維持補修事業費について、先日高松山に登り、その際2本の倒木が確認できた。こういった自然災害の復旧のために活用してほしい。

12月に日向山で山火事があったが、影響等があったか。復興に関してなにかあったか。また、近隣市区町村間で取り決め等はあるか。

事務局：9温泉施設整備事業補助金について、温泉旅館の日帰り入浴については、七沢荘に加え令和7年10月から山翠楼も可能である。厚木市内9軒の温泉施設があるが、2軒可能となっている。令和8年2月に福元館もクラウドファンディングを実施したと聞いている。2月の後半から工事開始予定である。この補助金については

令和8年度の事業実施が対象となるため、現在実施されている工事については対象外だが、温泉施設以外で整備された施設も補助が可能となっている。ボイラー工事や配管工事に加えて、すでに工事を施工している旅館については看板制作や、デジタルサイネージの導入やWi-Fiの整備等も対象になるため、積極的に活用してほしい。

11 観光施設維持補修事業費について、現在8か所の倒木が確認できている。すでに作業の工程に入っており、年度内には完了する予定。

日向山の山火事については伊勢原市と連携しハイカーの安全確保と不要な入山は控えるよう観光案内所を中心に、周知させていただいた。

委員長：市区町村間で取り決めやライフラインはあるのか。

事務局：県央やまなみ地域として5市町村で連携しており、情報共有できるようになっている。

委員長：観光インフラに関しては打撃等なかったか。

事務局：特に報告は受けてない。

(3) 第3次厚木市観光振興計画の策定について

資料3-1に基づき説明。

【意見等】

委員：(2)の1文目に「相反する魅力」という表現がある。「都心へのアクセスの良さ」と、「豊かな自然」とを対比するための表現かと思うが、反するものではないと思うので、別の表現にしてはどうか。

事務局：別の文言に修正する。

委員長：(1)の4文目に「地域経済が活性化して持続的な利益を生み出し、長期的に発展するための稼ぐ力を育む必要があります」とあるが、これに加え地域への還元を加えたらより良いと思う。地域が持続的に発展するためには、生み出した利益が地域へ還元されるという視点まで必要ではないか。

事務局：表現を修正する。

委員：考慮すべき視点の全てにおいて、「こども」の視点が欠けていると思われる。外国籍や高齢者と同様、こどもにも留意している計画にしていきたい。

事務局：(3) アクセシブルツーリズムの推進にこどもの視点を追加する。

資料3-2に基づき説明。

【意見等】

委員：4ページ⑧について、「この1年間」とあるが、回答者によって期間の捉え方が異なるのではないかと。具体的な期間を明示してほしい。

事務局：期間を「令和7年4月から令和8年3月まで」の1年間とし、その旨明記する。

委員：アンケートの調査期間はどのくらいを想定しているのか。

事務局：準備の状況にもよるが、令和8年3月中旬頃から令和8年4月中旬頃の1か月程度を検討している。

委員：アンケートの調査方法は。

事務局：厚木市のライン友だち登録者に発信する予定。ウェブで回答できるような媒体も作成する予定。紙媒体では市内公共施設に配架する予定で検討している。

委員：7ページ⑦について、「今後の観光振興」という表現が一般市民にはわかりにくいと思われる。簡易な表現に直してはどうか。

事務局：表現を訂正する。

委員：市民を対象にアンケートを行うのであれば、選択肢は一目見て選択できるような簡易な方がよい。

事務局：6ページ③④の各選択肢を端的な表現に訂正する。また、アンケート全体を通して、市民が回答しやすい内容となっているか推敲する。

ワザバー：「特になし」という選択肢はなくても良いのではないか。

事務局：該当箇所を削除する。

委員長：アンケート内容について、全体的に見てすごく整備されている。前半は厚木市民に向けた観光需要に関する質問。後半は厚木市の観光の活性化をどう図るかというもので、わかりやすいと感じた。

策定方針の話しについて、例えば6ページ①「厚木市の観光資源について、あなたが市外の方に紹介したいと思うものを選択してください。」については資料3-1の第3次厚木市観光振興計画策定方針（案）3 策定に当たって考慮すべき視点(2)の地域資源の魅力の最大化につながる。

あるいは7ページ⑥「今後、厚木市の観光について懸念事項や心配事がありますか。」については資料3-1の第3次厚木市観光振興計画策定方針（案）3 策定に当たって考慮すべき視点(1)持続可能な観光の促進に当たるものの質問もあれば、(3)アクセシブルツーリズムの推進にあたる場所もあるので、関係事項は難しいかもしれないが、将来的にいくつかの質問が連携するものに向かっていくと良いと思う。

委員：アンケートの対象者は厚木市民や厚木市に近い方々が中心となっているものか。

事務局：厚木市民中心であることを想定している。

(4) 観光振興に係る意見交換について

【意見等】

特になし。

3 その他

事務局：いただいた意見等を内容に修正反映させた資料を作成し、書面決議によりお諮りさせていただく予定である。

4 閉 会